

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 日本エアロフォージ 株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8264番7	
本票作成	部署名： 製造部				
主たる業種	分類コード	24	業種名： 金属製品製造業		
事業の概要	Ni及びTi合金等を油圧プレスにより熱間鍛造し、主に航空機向け部品を製造・販売している。2013年4月の工場稼働開始から航空機部品の製造認定を進め、順次量産製品の生産へ移行している。2013年初年度（H25）180t/年であった生産重量は、2018年度（H30）に3794t/年と大幅に増加した。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日本エアロフォージ 株式会社		岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8264番7	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	令和元年度 ～ 令和5年度 (5箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○		
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成30年度)					目標年度 (令和5年度)				
	14,045 t CO <sub>2</sub>					17,493 t CO <sub>2</sub>				
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (平成30年度) の排出量					
	①	日本エアロフォージ 株式会社			14,045 t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		3.702 t CO <sub>2</sub> / ( t )	3.517 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成30年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- ・製品加熱炉計11基の投入ロット数の増加による燃料 (LNG使用量) の効率改善。
- ・製品加熱炉計11基の最適加熱運用で空加熱を削減することによる再加熱用燃料の削減。
- ・水処理設備、照明設備などの間接動力の最適運転制御による効率改善。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギーの使用の合理化を図るための管理体制を構築し、実績収集を行う。この実績を”ユーティリティ使用量の推移”として所員に周知し、原単位の評価及び省エネルギー施策の指示をすることで、所員に省エネルギーの意識付けを継続実施する。
- ・月毎に操業計画を作成し、省エネルギーを意識した加熱炉稼働の効率化を推進する。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
	(平成30年度実施分) ○航空機メーカーからの部品製造認定取得及び、一般産業機械用鍛造部品の受注拡大(加熱炉投入ロット数の増加) ○生産量の増加と共に製造部の勤務体制を3直2交代制(昼夜勤務、土日継続)に変更することで、加熱炉の温度低下(再加熱用燃料)を削減した。2018年10月より変更実施中。 ○水処理設備の冷却塔ファンの水温モニタによる最適台数の運転制御に改善。 ○工場敷地内の照明のゾーニング見直しによる消費電力を削減。

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
	○航空機メーカーからの更なる部品製造認定取得の継続。 ○水処理設備の送水ポンプ自動運転化。 ○水処理設備の送水ポンプのモーターインバータ化。 ○手入れ(製品研削)ブース集塵機の自動運転化。 ○工場棟水銀灯を高効率LEDに更新。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--